

細菌検査室初期研修カリキュラム

【研修目標】

一般目標 GIO :

将来専攻する専門科に関わらず、感染症の存在と部位の検索を中心に、適切な検体採取・検体評価を心掛け、適切な抗生剤を選択する基礎技能を修得する。

行動目標 SBOs :

- 1) 感染対策に留意し、検体処理ができる。(態度)
- 2) 培養検体の採取方法・保存方法が説明できる。(解釈)
- 3) 培養目的を明確にした依頼ができる。(問題解決)
- 4) 培養提出検体の評価ができる。(解釈)
- 5) Gram 染色の手技が、正しくできる。(技能)
- 6) 検体材料と Gram 染色所見から起炎菌の推定ができる。(知識)
- 7) 血液培養陽性時の検体処理・報告対応ができる。(問題解決)
- 8) 菌の同定の進め方がわかる。(知識)
- 9) 薬剤感受性結果の見方がわかる。(解釈)
- 10) 薬剤耐性菌の判定ができる。(解釈)
- 11) 迅速検査項目が説明できる。(知識)

【研修方略】

研修期間 : 1 週間

研修内容 :

研修基本事項に留意し、細菌検査スタッフの指導のもと実習する。

- ①細菌検査室にある備品の使い方の説明を聞き、感染対策に留意し検体の処理をする。
- ②塗抹標本の作製から Gram 染色までの手技が的確にできるように繰り返し行い、随時細菌スタッフに評価・指導をうける。
- ③検査材料・Gram 染色所見・臨床所見より起炎菌を推定し、細菌スタッフに確認する。
- ④血液培養陽性検体を随時処理して、報告用紙・サーベランスシートを作成し、菌の推定結果を主治医に報告する。報告前には、必ず細菌スタッフに確認する。
- ⑤菌の同定をし、細菌スタッフに確認する。
- ⑥薬剤感受性測定結果をもとに、体内移行性・濃度・臨床所見を考慮し、適切な抗菌剤を選択する習慣を身につける。
- ⑦薬剤耐性菌報告時の抗生剤の選択を理解する。

週間スケジュール:

月	火	水	木	金	土
オリエンテーション Gram 染色 (主に血培)	Gram 染色 血培陽性処理 同定説明	血培陽性処理 同定実習 感受性説明 迅速検査説明	血培陽性処理 同定結果報告 便培養説明 感受性の解釈	血培陽性処理 便検査の実習 補足実習日	まとめ 予備日

*救急当番等あると思いますが、連続して3日間は研修に来て下さい。

*研修中血培陽性検体状況・培養材料・検体数により研修曜日が、若干異なることがある。

【研修評価】

SB0s	領域	目的	方法	測定者	時期
1	態度	形成的	実地試験	細菌スタッフ	ローテート中
2	解釈	形成的	口頭試験	細菌スタッフ	適宜
3	問題解決	形成的	観察記録	細菌スタッフ・上級医	適宜
4	解釈	形成的	実地試験	細菌スタッフ	適宜
5	技能	形成的	実地試験	細菌スタッフ・上級医	適宜
6	知識	形成的	口頭試験	細菌スタッフ・上級医	適宜
7	問題解決	形成的	観察記録	細菌スタッフ	ローテート中
8	知識	形成的	実地試験	細菌スタッフ	ローテート中
9	解釈	形成的	口頭試験	細菌スタッフ	適宜
10	問題解決	形成的	口頭試験	細菌スタッフ・上級医	適宜
11	知識	形成的	口頭試験	細菌スタッフ	ローテート中